

# 1st Step: 輸液回路を自分で組めるようになろう

**症例1-1** 70歳の女性。生もの摂取後に、繰り返す頻回の嘔吐と下痢を主訴に来院。

**ヤバレジくん** : この患者さんは脱水状態だね。ヤバレジくん、この輸液を点滴して。

**看護師さん** : わかりました、看護師さんに頼んでおきます!

**ヤバレジくん** : ……。

**看護師さん** : 急いでいるときは自分でやったほうが早いわ。私たちがやりましょう。

**ヤバレジくん** : そうだね、僕らでやろう。ヤバレジくん、準備して。

**看護師さん** : ええっと……。

**看護師さん** : 確かこうするのよ。

- ① 必要なものを準備する (図1-1)。
- ② 輸液チューブと三方活栓を繋げる (図1-2)。
- ③ ローラークレンメを完全に閉める (図1-3)。
- ④ 輸液をガートル台に下げ、アルコール綿で消毒してから輸液チューブを刺す (図1-4)。
- ⑤ チャンバーを揉み、規定の線まで輸液を満たす。
- ⑥ ローラークレンメを開放し、チューブ内を輸液で満たす (図1-5)。

**ヤバレジくん** : そうだね。しっかり手順を覚えてすぐできるように練習しよう!



図1-1 輸液回路～組み立てステップ①～

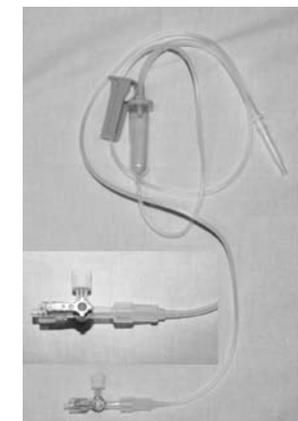


図1-2 輸液回路～組み立てステップ②～

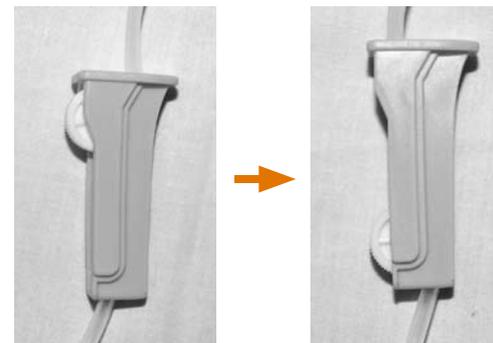


図1-3 輸液回路～組み立てステップ③～



図1-4 輸液回路～組み立てステップ④～

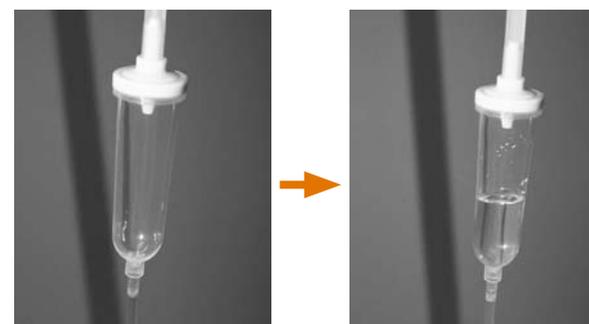


図1-5 輸液回路～組み立てステップ⑤～